

## 岐阜県の認可外保育施設の現状と課題

—保育資源としての可能性を探る—  
第1報 保育施設と保育内容の概要

田中 まさ子・徳広 圭子・大西 薫

### The Present Situation and Issues of Unlicensed-Day Care Centers in Gifu:

The Possibility of Childcare Resources

Report 1 : An Outline of Day Care Centers and Contents

Masako TANAKA Keiko TOKUHIRO Kaoru OHNISHI

#### 要 旨

岐阜県は、保育所待機児童が少ないにもかかわらず、認可外保育施設が多く、それらへの依存度が大都市大阪府に匹敵する。しかしながら、行政調査以外に認可外保育施設に関するまとまった調査はなく、そこにおいてどのような保育者が勤務しどのような保育がなされているのか、不明であった。これらの点を明らかにするために、主任保育者を対象とした質問紙調査を行った。

その結果、平均して4～6人の保育従事者と20人前後の登録児童が在籍し、小規模で濃密な人間関係に基づく保育が行われていると言う概要が明らかになった。また、一時預かり保育、休日保育、学童保育等において、認可外保育所と相互補完的な機能を果たしていることが分かった。その一方で、指導計画の作成等の記録面において脆弱さが見られ、それが今後の保育の質の向上と恒久的な保育施設へと脱却するための課題となっていることが分かった。

**Keywords :** Unlicensed day care center, manager, contents

#### I はじめに

厚生労働省が半年ごとに行っている待機児童数調査によれば、2011年10月現在で、全国46,620人の子ども達が保育所へ入所待ちの状況である。年齢別に見ると、3歳未満児が41,137人で3歳以上児5,483人の約7.5倍となっている。幼い子どもとその保護者が、家庭以外の安心できる場所を探し求めている姿を思うと胸が痛む。

言うまでもなく保育所待機児童数は大都市が多い。最も多いのが東京、神奈川、大阪、そして愛知、千葉、埼玉、兵庫と続く。他方、待機児童数がゼロの地域も少なくなく、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野といった北陸・甲信越地方が目立つ他、青森、島根、香川、宮崎と全国に点在している<sup>1)</sup>。

岐阜県はどうだろうか。前掲の調査によれば、岐阜県の待機児童数は43人であった。年度初めの調査では一桁まで減っている。全国的に見れば確かに少数である。しかも、県庁所在地であり中核都市である岐阜市はゼロである。それでは、乳児保育の実施率が高いのかということ、低年齢

児（0～2歳）の保育所入所率は14.1%で全国47位、つまり最下位である。前述した待機児童ゼロの地域は、鳥取(約45%)・石川(約40%)・宮崎(約38%)等と、低年齢児保育所入所率がいずれもトップクラスで、地域の保育所が乳児期からの保育を支えているという構図が見える。これに対して岐阜県は、待機児童数も低いが乳児・低年齢児保育実施率も低い。また、現時点で認可された夜間保育所はない。こうした数値から、8割以上の低年齢児は家庭や地域で過ごし、3歳以上になると地域の幼稚園や保育園に通うといったイメージが形成できる。

しかし、もう一つの数値が岐阜県の別の姿を浮かび上がらせる。3歳未満児における認可外保育施設利用率である。2009年度の厚労省保育課によれば、認可外保育施設を利用する3歳未満児は、全国平均3.5%である。岐阜県の場合は2.3%で、平均よりは低い。だが、この数値に最も近いのが大阪府の2.4%であることを考えると、岐阜県の乳幼児について単純なイメージでは語れない。ちなみに、認可された夜間保育所が多い隣県の愛知県では1.8%である<sup>2)</sup>。

ここで、認可外保育施設及び岐阜県の認可外保育施設の概要を押さえておきたい。

厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課によれば、認可外保育施設とは、児童福祉法に基づく都道府県知事などの認可を受けていない保育施設を意味し、多くは事業所や病院が従業員のために設置する事業所内保育施設である。この他に、①夜8時以降の保育、②宿泊を伴う保育、③一時預かりの子どもが利用児童の半数以上、のいずれかを常時運営している施設をベビーホテルという。都道府県は、届出が義務づけられていないすべての認可外保育施設を対象に、原則として年1回以上の立ち入り検査を行い指導監督している。ベビーホテルについては、年1回必ず実施する。

認可外保育施設数は7,579カ所、入所児童総数は186,107人である。前述の事業所内保育施設は増加傾向が見られ、ベビーホテルは増減を繰り返している<sup>3)</sup>。ベビーホテルは、廃止・休止・認可保育所への移行等変動が常態的で、全体の把握が困難な面がある。このためか、先行研究も比較的安定した事業所内保育施設ないし院内保行施設に限定される傾向がある。

岐阜県に目を転じると、県内の認可外保育施設は、県子ども家庭課の調査によれば約180カ所であり、そのうち院内・事業所内保育施設は107カ所、その他の保育施設は73カ所である<sup>4)</sup>。入所児童の定員は総数4,981人、1施設平均27.7人である。定員の最小値は3人（院内保育施設）、最大値は210人（院内・事業所以外の保育施設）である。実際の登録数は2,139人で平均11.9人が1施設に在籍していることになる。登録児の最小値は2人、最大値は62人である。総登録児童数を総定員数で割った充足率は47.2%である。登録児を年齢別にみると、表1のとおりである。

他方、保育従事者は771人、そのうち保育士は590人で、その割合は76.5%である。保育士がいない施設は2カ所、不明が27カ所ある。開所時間は平均で約10時間である。最短で5.5時間、最長で24時間である。夕方から開所し翌朝閉所の施設が3カ所、24時間開所施設は3カ所である。

県は、毎年、年齢別在籍児童数、職員数、開所日数、開所時間、建物、給食の実施状況等の調査を実施しているが、具体的な保育内容や保育者の勤務状況を把握するまでに至っていない。2,100人余の子どもたちがどのような生活を送り、保育者が何を願って保育しているのか等についての詳細な資料は皆無である。

筆者は、ある講習会を通して認可外保育施設に勤務する保育者の方々と接する機会を与えられた。その時の印象として、参加した保育者が学びの機会を強く求めていることが伝わってきた。また、かつて幼稚園や保育所で保育経験を積んだ保育者も多かった。さらに、相互の交流の機会を求めていることも理解できた。認可外保育施設は、児童福祉法の「設置基準を満たしていない

施設」として一括するには多種多様で、認可保育所に匹敵する保育を実践する施設も散見できる。認可外保育施設で培われてきた保育の実態を明らかにし、保育資源としての可能性を検討することは意義あることと考える。

上記の目的のために、次のような3層で研究を構成した。

- (1) 認可外保育施設の概要調査（主任保育者へのアンケート）
- (2) 具体的な保育や保育者一人一人の保育観に関する調査（保育者へのアンケート）
- (3) 事例研究（施設長等へのヒアリング）

今回は、(1)の認可外保育施設の概要把握に焦点を置き、主任保育者を対象としたアンケート調査の分析を行う。

## II 研究の目的

本研究でいう認可外保育施設とは、病院内保育施設、事業所内保育施設、その他（ベビーホテル型保育施設）である。前述したように、認可外保育施設については全国レベルでは厚労省の、県レベルでは健康福祉部の行政調査が年1回あるものの、調査項目は限定されている。これに対して本研究は、これまで明らかにされることがなかった県内施設の保育内容および保育者の実状について調査を行い、基本的な資料を提供することを目的とする。また、認可外保育施設は、おおむね小規模な保育所が多いことから、既存の認可保育施設とは異なった機能が期待される。折から、国の小規模保育所に対する方策が転換期に入ろうとしている。国の方向を見定めながら、小規模保育施設としての認可外保育施設の今後について論考することも加える。

## III 研究の方法

今回は、岐阜県健康福祉部子ども家庭課の資料に基づき、県内の認可外保育施設175か所にアンケート調査を実施して、その実状の把握に努めた。アンケートは、各施設における主任保育者（あるいは主任的立場にある保育従事者。以下主任保育者とする）を対象とし、調査用紙を配布した。

アンケートの実施について

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| ① アンケートの配布及び回収方法 | 郵送による                   |
| ② アンケート項目        | 別添                      |
| ③ アンケート調査期間      | 2012年4月27日～5月31日        |
| ④ アンケートの対象       | 主任的立場にある保育従事者（主任保育者とする） |
| ⑤ アンケート配布地域      | 岐阜県全域                   |
| ⑥ アンケート配布数       | 175件                    |
| 不達数              | 8件（営業廃止、転居等による）         |
| 回収数              | 61件（回収率：36.5%）          |

アンケートの内容

主任保育者用アンケートは、次のような項目から成り立っている。

- I 回答者のプロフィール
- II 所属している施設の概要

- Ⅲ 保育の内容
- Ⅳ 入所している子どもへの対応
- Ⅴ 保育従事者の勤務状況
- Ⅵ 保護者との連携

自由記述 「保育従事者として、今、もっとも望んでいること」

上記の項目のうち、第1報では次の項目を報告する。

- Ⅰ 回答者のプロフィール
- Ⅱ 所属している施設の概要
- Ⅲ 保育の内容

#### Ⅳ 研究の結果及び考察

以下、結果を表で揭示しつつ、若干の考察を加える。

##### 1. 回答者のプロフィール（表2～表8）

###### （1）年齢（表2）

表2によれば、最も多くを占めたのは50歳代前半、次いで40歳代前半、40歳代後半であった。主任の平均年齢は、認可公立保育所で50.2歳、民営で46.2歳という調査報告があるので、これに近い結果となった<sup>5)</sup>。70歳代という回答者が1名あった。

###### （2）勤務年数（表3）

現在の施設での勤務年数は、4年から10年が最も多く、次いで16年以上、1年から3年であった。

###### （3）職位（表4）

回答者の職位は、主任が過半数を占め、他は、園長、事務担当者等であった。「その他」では、主任・園長といった正式な職位はなく、正社員である保育者や勤務年数の長い保育者が主任の任務を果たしているという回答が7件あった。

###### （4）保育に関する資格（表5）

保育・幼児教育関係の資格に関しては、保育士資格、次いで幼稚園教諭免許状の保有がそれぞれ8割を超えている。

###### （5）勤務のきっかけ（表6）

勤務のきっかけとして、最も多かったのが保育への関心や熱意、次いで病院や事業所内の保育施設への関心であった。

###### （6）他の保育施設での経験（表7）

表7によれば、現在の職場以前に、他の保育施設での勤務経験のある保育者が85%と圧倒的に多いことが分かった。前掲の「勤務のきっかけ」と合わせて考察すると、保育への熱意を持ち続けつつも何らかの理由で職場を変わり、その時点で認可外保育施設に関心をもった者が多かったと言えよう。

###### （7）他の保育施設での勤務期間（表8）

それでは、以前はどのくらいの期間勤務していたのだろうか。表8によれば、1年から40年という開きがあるものの、1～5年間勤務して現在の職場に移った者が50%を占めており、比較的早期に職場変更をした者が多いことが明らかになった。平均値を算出するとは8.1年となった。他方、10年、15年と保育経験を積んだ保育者も少なくない。一定のキャリアを形成した後、職場

を離れ、認可外保育施設で新たに保育者として再スタートしたのである。

## 2. 所属している施設の概要（表9～表13）

### （1）保育施設の種類（表9）

表9によれば、事業所内保育施設が最も多く、次いで院内保育施設、それ以外の保育施設と続いた。

### （2）事業所内保育施設の業種（表10）

事業所内保育施設の業種としては、食品関係、社会福祉関係、サービス業、販売業と続いた。

### （3）設置主体（表11）

また、設置主体については、民間の事業主が圧倒的に多かった。

### （4）保育施設の設置年（表12）

保育施設の設立時期について、昭和40年代半ばから今日までを選択肢に挙げて調査したのであるが、回答からは、この40年間に特に大きなピークは見られなかった。施設数全体としてはそれぞれの時期に緩やかな増減があったのであろう。ただ、最近10年くらいの中に設立された施設が全体の44.3%あり、やはり増加傾向にあると言える。この傾向は、こども未来財団による全国調査でも見られた<sup>6)</sup>。同調査は、本調査のような細かい区分ではなく1970年代からの10年単位での分析であるが、2000年台が最も多い点では一致していた。見方を変えれば、最近の10年間に創設された施設は、それ以前の約30年間の合計よりも多い。認可外保育施設に改廃が多く、長く継続しにくい状況にあることが推察できる。

### （5）保育施設の運営（表13）

表13は運営の形態を示している。表によれば、事業所の直営が圧倒的に多い。外部の業者への委託は、プロポーザル等の一定の手順を経て決定しなければならないので、ある程度の組織力をもった事業所に限定されるためであろう。また、入所児童数の変動に応じて被雇用者数等を決定するには直営の方が有利である。ちなみに、外部委託した2施設は、いずれも公立で、それぞれ大手の人材派遣会社に委託している。

### （6）保育従事者（表14～表17）

表14が示すように、一施設当たりの全保育従事者数が4～6人の50.8%を最大として、10人未満の施設が86.8%を占めることになる。この人数であると、勤務形態にもよるが、保育者と子どもの親密な人間関係が比較的育ちやすいと思われる。またこの数値は、前出のこども未来財団による全国調査の83.0%にも近い結果となった<sup>7)</sup>。勤務形態別にみると、常勤保育者は1～3人が過半数を占め、次いで4～6人であり、最大6人までの施設が90%近くになることが分かった。常勤保育者がいない施設は2カ所あった。非常勤保育者は1～3人という施設が最も多く54.1%、次いで4～6人で、最大6人までという施設が80%近くあった。非常勤保育者がいない保育施設は10カ所あった。

認可外保育施設は、低年齢児が多いため看護師の必要度が高い。看護師の有無を調べた結果、表15が示すように過半数の施設に看護師はいなかった。また、保育者以外の職員については、表16が示すように「いない」という回答が「いる」とした回答より多くあった。従って、保育者が保育以外の様々な用事に携わるケースが多いようである。

### （7）入所児童の定員数・年齢区分・現在の登録児童数（表18～表24）

#### ①子どもの定員（表18）

回答から得た定員数は、平均で22.7人であった。規模からいえば、小規模保育所に該当する。

おのずと、家庭的な保育や保育者と保護者の親密なやり取りが期待される。反面、同年齢集団が編成しにくく、特に3歳以上児に欠かせない仲間づくりにおいて課題が生じてくる。この問題は、認可外保育施設に限らず、定員割れの幼稚園、過疎地の保育所等でも最近生じている。それらの園では、他園や小学校と交流する等の工夫をしている。この点、認可外保育施設においてはどのような対応をしているのだろうか。これについては他で論考する。

### ②年齢区分（表19・表20）

定員数に年齢区分を設けているとした回答は約44%あり、年齢区分がないとした回答や不明が過半数あった。年齢区分の内訳は、0歳から学童まで入所児童の全年齢区分をしている回答が29.5%、部分的な区分が14.8%であった。部分的な区分とは、例えば「0歳児、1・2歳児、3歳以上児」や「3歳児未満、3歳児以上、学童」といった分け方であるが、主として0歳児、1・2歳児、3歳以上児、学童という4段階の設定があり、それを各施設の実態や児童数に対応させつつ、組み合わせ方を工夫している様子が窺えた。

### ③現在の登録数及び充足率（表21～表24）

実際の登録児童数は、表21が示すように、最少2人から最多の115人で、平均が21.4人であった。この数値は、全国調査の23.3人と近似している<sup>8)</sup>。表22で明らかのように、1、2歳児いわゆる低年齢児の在籍が目立っており、認可外保育施設の特徴の一つである。

ところで、実際の登録児童数は定員数に対してどのような過不足があるのだろうか。表23によれば、定員に過不足が生じているのが全体の57.4%であり、そのうち13.1%は定員超過、44.3%が定員未満であった。事業所、院内、その他、という施設の種別に見ても、定員超過の施設よりも定員に満たない施設の方が多いことでは共通している。また、その割合がいずれも40%台であることから、施設の種別による入所率に大差はないことが明らかになった。強いて言えば、その他の認可外保育施設、院内保育施設、事業所内保育施設の順で定員充足率が高かった。

いずれにせよ、認可保育所の充足率と比較すれば低いことは歴然としている。県子ども家庭課の調査によれば、県内42市町村の認可保育所充足率は、白川村の47.8%から海津市の109.3%まで幅はあるが、平均は87.0%である。これに対して認可外保育施設は一様に低い。この充足率で、厳しい経営を余儀なくされているのか、あるいは見方を変えると充足率や定員と言った概念や意味合いが、認可保育所とは異なっているとも考えられる。登園する子どもの数が日によって違う状況が常態だとすれば、充足率や定員はさほど意味がない。定員超過としても、全登録児童が同日に保育を受けにくくとは限らない。登録数・充足率に関しては、後日のヒアリングを待ちたい。

### （8）保育施設の設置場所（表25）

岐阜県が行っている調査では、院内・事業所内保育施設における建物の構造（鉄骨、鉄筋コンクリート、木造別）、面積、使用階を明らかにしており、強度や安全面、生活空間の広狭に重点を置いた調査であることが理解できる。これに対して、本研究では保育が行われる環境や場に注目し、施設の設置場所を調査した。その結果、保育施設の設置場所は、独立した建物が半数を占め、次いで事業所内、病院内と続いた。「その他」では、自宅敷地内のゲストハウス、キリスト教会内、事業所女子寮内等の回答があった。

### （9）保育施設の運営時間（表26～表30）

表26によれば、およそ90%の施設が正規の開閉時刻内で運営している。表28・29によれば、そのうちの約70%が午前8時から午前9時の間に開園している。これに対して、閉園時刻はやや分散傾向が見られる。17時台、18時台、19時台がそれぞれ20%前後である他、14時台、15時台の閉

園や22時台の閉園があった。認可外保育施設と言えば夜遅くまでの運営とみなしがちであるが、むしろ多様な運営時間があると捉えた方がよい。運営時間に関しても、こども未来財団の調査結果と同じ傾向が見られた。

また、表27・30から延長保育の実施状況を見ると、朝の延長は7時からが最も多く、次いで7時半であった。最も早いのは6時であった。一方、夕方の延長は朝よりもやや分散傾向が見られる。強いて言えば18時台と21時台の延長が多かった。18時台と21時台は、夕食の提供の有無や年齢によっては睡眠時刻に入るか否か等、入所している子どもの生活リズムが大きく変わってくる境目であり、そのために二峰性を示しているのではないだろうか。最も遅い延長保育は午後10時半で、実質的な夜間保育である。

#### (10) 保育料金 (表31～表33)

##### ①保育料金 (表31)

料金は、月額で言えば最高73,000円、最低が0円であった。最高金額を示したのは院内・事業所内以外の認可外保育施設であったが、金額が高い理由は調査票からは明らかにできなかった。0円という理由は不明であるが、2施設あり、共に事業所内保育施設であった。ちなみに、平均金額は18,372円であった。

##### ②保育料金の徴収等 (表32・表33)

保育料金の徴収方法は、1か月単位での徴収方法が最も多かった。1時間の保育料金を示した回答が3件あり、300円未満1件と500円以上800円未満が2件あった。「その他」の内容を見ると、「給料から引く」や「月の定額で徴収」が数か所ある他、「定額・日割り・一時預かりと細かく分けていて大変複雑である」といった回答が3件あった。ここからも、利用者の多様な利用時間に認可外保育施設が対応していることが分かる。

### 3. 保育の内容 (表34～表52)

#### (1) 実施している保育サービス (表34)

通常の保育に加え、他に実施している保育サービスについて示したのが表34である。表によれば、最も多かったのが一時預かり、次いで延長保育、休日保育、学童保育、夜間保育であった。母数の差が大きいのが、参考までに県内の認可保育所の実施率と比較してみる。認可保育所では、延長保育254ヶ所(56.9%)、一時預かり210ヶ所(48.8%)、休日保育7ヶ所(0.2%)、障害児保育409ヶ所(95.1%)である。実施率から見ると、延長保育においては双方近似しており、一時預かり事業においては認可外保育施設が優位、休日保育においては認可外保育施設が圧倒的に優位であった。逆に、障害児保育実施率では圧倒的に認可保育所が優位であった。これらの数値から、認可外保育施設の保育サービスの特徴を示すものとして、一時預かり、休日保育、学童保育、夜間保育、宿泊保育の実施が挙げられる。

#### (2) 保育において最も大切にしていること (表35)

日常の保育を実施するにあたって、最も重視していることについて自由記述をお願いした。その結果、61件の回答中、57件(93.4%)の記述があった。記述の中から繰り返し出てくる文言を抽出して整理したのが表35である。表から分かることは、安全面への配慮を何より重視していることである。認可外保育施設への評価や信頼感の獲得は、まず、第一に怪我や事故がないことである。一日の保育が無事終わることを願い、その上で、楽しい経験を多く取り入れ家庭的な雰囲気の中で過ごさせることに配慮している様子が窺える。

#### (3) 保育の計画 (表36～表43)

現在、保育所では「保育所保育指針」によって保育課程の編成と指導計画、3歳未満児では個別の指導計画の作成が義務づけられている。同様に、幼稚園では教育課程の編成が義務である。見通しを持った計画的な保育の実施は基本的な事からなっているが、認可外保育施設においては、どのような計画を誰が作成しているのだろうか。

表36によれば、53施設（86.9%）が何らかの計画を作成していることが分かった。具体的に、各計画の作成状況を表37から見ていくと、最も多く作成されていたのは月間指導計画（98.1%）、次いで年間指導計画（90.6%）、デイリープログラムと週案（71.6%）、日案（67.9%）と続き、短期間の指導計画ほど作成率が低いことが分かった。1ヶ月を目安とする保育計画が中心となっている。また、マスタープランとしてすべての計画の基本となるべき保育課程の編成率は最も低かった（56.6%）。表38から表43で、作成者を見ると、保育課程を除いていずれも主任以外の保育従事者が作成する割合が多く、最も子どもに近い担当保育者に任されている。

以上の結果から、基幹となる保育の計画を月間指導計画に置き、それ以外の短期の計画は子ども数等に即応させて担当者が柔軟に対応している様子が見える。この結果は、こども未来財団が行った調査結果とも近似している<sup>9)</sup>。同調査では最も基本となる保育課程については触れていなかったが、本研究では保育課程の編成率が低いことが分かった。保育課程はそれぞれの施設の在り方を示すものである。これを編成し、各施設が掲げる理念や方向を明確にしておくことが望まれる。そのもとで、日々の状態に合わせた保育が柔軟に実践されることが期待される。また、家庭生活との連続性という面では、デイリープログラムを作成し、子どもの生活リズムの調整を図りたい。

計画性と柔軟性は一見すると相反するように見えるが、責任ある柔軟な対応は、一定の計画性の下でこそ可能である。託児と保育の境界でもある。子ども数の変動が大きい流動的な状況下で、また、低年齢児が多いなかで、保育の計画作成の困難さは想像に難くないが、今後検討していくべき事からである。

#### （４）保育内容の参考（表44・表45）

日常の保育は、何を参考にしているのか。表44によれば、80%以上の回答者が参考にしているものがあると回答した。その内訳を表45に示している。最も多いのが保育関連の月刊誌であった。具体的には、「ピコロ」「こどもと」「プリプリ」「あそびと環境0. 1. 2歳」（以上、学研）、「保育の友」（全国社会福祉協議会）であった。次いで、「先輩や同僚の意見」「保育所保育指針とその解説書」と続く。前掲のこども未来財団の調査結果でも、保育所保育指針を活用している施設は「必ず読んでいる」「まあまあ読んでいる」を合わせると91%になったことを報告している。まとめ直すと、「保育所保育指針」を参考にしつつ、同僚の意見や保育日誌、そして研修で得てきた情報等、各職場で積み重ねてきた経験や知見を活かしているようだ。ただし、それがどのような形で、例えば記録として整理された形で保管されているのか等、別の課題はある。これについては、第3報で論考する。

#### （５）給食・間食（表46～表52）

表46によれば、給食を実施している施設が70%あった。その実施方法を表47でみると、給食業者からの搬入いわゆる外部搬入が最も多く、次いで施設内での調理、事業所内での調理と続いた。こども未来財団の調査で最も多かった「弁当の持参」（41.5%）は、本調査では14.0%であり、地域差が出た。

表48によれば、90%近くが献立表はあると答え、表49からは、そのうちの80%近くが保護者に



配布していることが分かった。間食については、95%が実施しており、表51によれば、そのうちの60%が近くの商店等で適宜購入している。「その他」の内容をみると、「保護者が持参する」「院内の売店で購入する」等であった。園内での調理しているのは17%であり、給食に比べて間食は安定した供給方法になっていない。その代り、子どもの人数やその日の状況によって柔軟に対応できる。給食や間食については、アレルギー対応や安全管理への関心が高く、安全面の重視が食事にも反映していることが表52から明らかになった。

## V 結 論

以上、岐阜県の認可外保育施設の概要について分析してきた。その結果を列挙する。

1. 認可外保育施設には、他の保育施設で経験を積んだ有資格保育者が高い比率で勤務しており、保育技能集団としての社会的資源であると言える。
2. 登録児童には低年齢児童と学童の在籍が目立った。
3. 保育の実施内容を見ると、一時預かり事業、夜間保育、休日保育、学童保育において認可外保育施設の取り組みが認可保育所よりも多く、双方が相互補完的な役割を果たしているのが分かった。
4. 認可外保育施設の規模は、各施設が擁する保育従事者数や登録児童数から推測できるが、概して小規模保育所に該当する規模である。保育においては保育者と保護者・子どもとの信頼関係を重視し親密な人間関係を築くことに配慮している。そのためにも、安全性を重視したうえで、楽しい経験をさせることに配慮している。
5. 保育料金やその徴収方法からは、保護者の利用時間帯に合わせた多様な対応をしていることが理解できた。認可外保育施設が、その特性を生かし、保護者のニーズに対応した機動性あるしくみを蓄積してきたことが窺われる。
6. 施設の改廃があり、存続が困難な状況があることが分かった。
7. 保育内容を計画的に展開するために種々の保育計画が求められるが、本研究では、基幹となる保育課程及び日々の実践を支える短期の指導計画に置いて作成率が低いことが分かった。

今後、認可外保育施設がその蓄積を生かし、恒久性のある保育施設として存続して行くために、また、小規模保育所・家庭的保育として基盤を固めていくためにはいくつかの条件が求められる。その一つが上記の7でも述べた保育の計画性である。「計画の有無」で見たように、計画作成の不備が目立った。計画は記録を伴い、記録は保育の省察のための重要な手立てである。小規模で柔軟な保育が求められる認可外保育施設において、計画的であることに困難な面があることは想像に難くないが、改善の必要がある。

本研究の結果は、こども未来財団の全国調査の結果と合わせつつ考察したが、岐阜県の特性を明らかにするまでには至らなかった。一施設における保育従事者数や登録児童数の平均値においても、全国調査と岐阜県調査の数値は近似していた。ただし、こども未来財団の全国全調査とは言え、調査対象は事業所内保育施設に限定されており、本研究のように種別を問わない認可外保育施設の調査とは異なる。あくまで、参考とする程度である。岐阜県の特性は、今後行うヒアリングや保育従事者アンケート結果において考察していきたい。

表一覧（上段は実数，下段は％）

表 1 岐阜県の年齢別登録児童数(岐阜県子ども家庭課2011. 4. 1 調査による)

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳以上	合 計
117	547	638	298	250	299	2,139
5.5	25.6	29.8	13.9	11.7	14.5	100.0

表 2 年 齢

20歳前半	20歳代後半	30歳前半	30歳代後半	40歳前半	40歳代後半	50歳前半	50歳代後半	60歳代	その他	回答なし	合 計
0	4	0	3	10	9	22	4	5	1	3	61
0.0	6.6	0.0	4.9	16.4	14.8	36.0	6.6	8.2	1.6	4.9	100.0

表 3 勤 務 年 数

1年から3年	4年から10年	11年から15年	16年以上	その他	回答なし	合 計
12	26	3	19	0	1	61
19.7	42.7	4.9	31.1	0.0	1.6	100.0

表 4 職 位

主任保育者 (主任的立場 の保育者)	園長・所長	事務担当者	その他	回答なし	合 計
38	13	1	7	2	61
62.3	21.3	1.6	11.5	3.3	100.0

表 5 保育に関する資格（複数回答）

n = 61

保育士資格	幼稚園教諭免許状	看護師	社会福祉士	調理員	その他	回答なし
53	49	0	1	1	3	3
86.9	80.3	0.0	1.6	1.6	4.9	4.9

表 6 勤務のきっかけ

保育に関心が あった	業務命令が あった	派遣会社からの 指示があった	院内・事業所 内施設に関心 があった	その他	回答なし	合 計
33	3	0	13	9	3	61
54.1	4.9	0.0	21.3	14.8	4.9	100.0

表 7 他の保育施設での経験

ある	ない	回答なし	合 計
52	8	1	61
85.3	13.1	1.6	100.0

表8 他の保育施設で経験ある者の勤務期間

1～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21～25年	26～30年	31～35年	36～40年	回答なし	合計
26	11	6	2	2	1	0	1	3	52
50.1	21.2	11.5	3.8	3.8	1.9	0.0	1.9	5.8	100.0

表9 保育施設の種類の種類（①事業所内保育施設、②院内保育施設）

事業所内 保育施設	院内 保育施設	①、②以外 の認可外保 育施設	その他	回答なし	合計
23	22	15	1	0	61
37.7	36.1	24.6	1.6	0.0	100.0

表10 事業所内保育施設の業種 n=23

社会福祉	製 造	食 品	販 売	金融・保健	大学等	サービス	その他	回答なし
5	0	7	3	0	0	4	4	0
21.7	0.0	30.5	13.0	0.0	0.0	17.4	17.4	0.0

表11 設 置 主 体

国 営	公 営	民営（事業主）	民営（職員団体）	回答なし	合計
0	5	51	4	1	61
0.0	8.2	83.6	6.6	1.6	100.0

表12 保育施設の設置年

1970～ 1974年	1975～ 1979年	1980～ 1984年	1985～ 1989年	1990～ 1994年	1995～ 1999年	2000～ 2004年	2005～ 2009年	2010～ 2012年	回答 なし	合計
3	3	1	1	11	4	10	10	7	11	61
4.9	4.9	1.6	1.6	18.1	6.6	16.4	16.4	11.5	18.0	100.0

表13 保育施設の運営

事業所の 直営	外部への委託 (委託事業所名あ るいは団体名)	その他	回答なし	合計
52	2	5	2	61
85.2	3.3	8.2	3.3	100.0

表14 保育従事者（勤務形態別）

	0人	1～3人	4～6人	7～9人	10～12人	13～15人	16人以上	回答なし	合計
常勤数	2	34	19	4	2	0	0	0	61
	3.3	55.7	31.1	6.6	3.3	0.0	0.0	0.0	100.0
非常勤数	10	33	15	2	1	0	0	0	61
	16.4	54.1	24.6	3.3	1.6	0.0	0.0	0.0	100.0
全保育 従事者	0	11	31	11	5	3	0	0	61
	0.0	18.0	50.8	18.0	8.2	4.9	0.0	0.0	100.0

表15 看護師の有無

いる	いない	回答なし	合 計
18	32	11	61
29.5	52.5	18.0	100.0

表16 その他の職員の有無

いる	いない	回答なし	合 計
18	27	16	61
29.5	44.3	26.2	100.0

表17 その他の職員の内訳

事務員・調理員両方いる	事務員のみ	調理員のみ	いない	回答なし	合 計
2	1	5	27	26	61
3.3	1.6	8.2	44.3	42.6	100.0

表18 子どもの定員

平均値	22.7人
最小値	1人
最大値	72人

表19 年齢区分の有無

年齢区分有	年齢区分無	不 明	合 計
27	17	17	61
44.3	27.9	27.9	100.0

表20 年齢区分の内訳

全区分に有	部分的に有	年齢区分無	不 明	合 計
18	9	17	17	61
29.5	14.8	27.9	27.9	100.0

表21 登録児童数（平均値、レンジ）

平均値	21.4人
最小値	2人
最大値	115人

表22 年齢別登録児童数（複数回答）

n = 61

0歳児がいる施設	22件	36.1%
うち0歳児のみがいる施設	15件	24.6%
1歳児がいる施設	42件	68.9%
2歳児がいる施設	46件	75.4%
3歳～学童前の児がいる施設	30件	49.2%
学童がいる施設	15件	24.6%
うち学童のみがいる施設	8件	13.1%
0歳児と学童の両方がいる施設	7件	11.5%

表23 総定員数に対する総登録数

① 登録数が定員以上	8件	13.1%
② 登録数が定員未満	27件	44.3%
計	35件	57.4%

表24 施設の種別と登録状況

登録数	施設の種別	①事業所内 保育施設	②院内保育 施設	③①、②以 外の認可外 保育施設	④その他
		① 登録数が定員以上	4件 50.0%	1件 12.5%	2件 25.0%
② 登録数が定員未満		11件 40.7%	10件 37.0%	6件 22.2%	0件 0.0%

表25 保育施設の設置場所

独立した 建物・家屋	一般の ビルの中	駅舎の中	病院の中	事業所の中	その他	回答なし	合 計
31 50.9	1 1.6	0 0.0	5 8.2	15 24.6	8 13.1	1 1.6	61 100.0

表26 保育施設の運営時間

n = 61

開園前の 延長時刻	正規の 開園時刻	正規の 閉園時刻	閉園後の 延長時刻	24時間 保育	回答なし
18 29.5	55 90.2	56 91.8	29 47.5	4 6.6	0 0.0

表27 開園前の延長時刻

6 : 00	6 : 30	7 : 00	7 : 30	7 : 45	8 : 00	回答なし	合 計
1 5.6	2 11.1	6 33.3	4 22.2	2 11.1	2 11.1	1 5.6	18 100.0

表28 正規の開園時刻

7:00~7:29 7:00~7:29	7:30~7:59	8:00~8:29	8:30~8:59	9:00~9:30	回答なし	合計
6 10.9	9 16.4	22 40.0	16 29.1	2 3.6	0 0.0	55 100.0

表29 正規の閉園時刻

14:30~ 14:59	15:00~ 15:59	16:00~ 16:59	17:00~ 17:59	18:00~ 18:59	19:00~ 19:59	20:00~ 20:59	21:00~ 22:00	回答なし	合計
2 3.6	8 14.3	2 3.6	13 23.3	12 21.4	11 19.6	4 7.1	4 7.1	0 0.0	56 100.0

表30 閉園後の延長時刻

15:30~ 15:59	16:00~ 16:59	17:00~ 17:59	18:00~ 18:59	19:00~ 19:59	20:00~ 20:59	21:00~ 21:59	22:00~ 22:30	回答なし	合計
1 3.4	4 13.8	2 6.9	6 20.9	3 10.3	3 10.3	5 17.2	3 10.3	2 6.9	29 100.0

表31 料 金

平均値	18,372円
最小値	0円
最大値	73,000円

表32 保育料金の徴収

日割計算でひと 月ごとに徴収	1時間単位 で毎日徴収	その他	回答なし	合計
29 47.6	3 4.9	23 37.7	6 9.8	61 100.0

表33 1時間の保育料

300円未満	300円以上 500円未満	500円以上 800円未満	800円以上	回答なし	合計
1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	3 100.0

表34 現在実施している保育サービス（複数回答）

n = 61

延長 保育	一時 預かり	休日保育 (日曜・ 祝日)	夜間 保育	宿泊 保育	病児 保育	病後児 保育	学童 保育	障害児 保育	その他	回答 なし
35 57.4	38 62.3	26 42.6	13 21.3	7 11.5	4 6.6	5 8.2	22 36.1	5 8.2	4 6.6	3 4.9

表35 保育において最も大切にしていること

n = 57

順位		
1	安全他衛生面への配慮	26件
2	子どもの気持ちの理解	19件
3	遊びの充実	13件
4	保護者の信頼感・安心感	12件
5	生活習慣の習得・健康・体力の育成	11件
6	その他（家庭的な雰囲気・自然に親しむ・判断力・思いやり等）	32件
		計113件

表36 保育の計画

あ る	な い	回答なし	合 計
53	7	1	61
86.9	11.5	1.6	100.0

表37 各種の計画（複数回答）

n = 53

保育課程の 編成	年間指導計 画の作成	月間指導計 画の作成	週案の作成	日案の作成	デイリィプロ グラムの作成
30	48	52	38	36	38
56.6	90.6	98.1	71.6	67.9	71.6

表38 保育課程編成者（複数回答）

n = 53

事業所・病院	主任・主任的な 立場の保育従事者	保育従事者	その他	回答なし
5	10	9	1	31
9.4	18.9	17.0	1.9	58.5

表39 年間指導計画作成者（複数回答）

n = 53

事業所・病院	主任・主任的な 立場の保育従事者	保育従事者	その他	回答なし
6	19	23	0	13
11.3	35.8	43.4	0.0	24.5

表40 月間指導計画作成者（複数回答）

n = 53

事業所・病院	主任・主任的な 立場の保育従事者	保育従事者	その他	回答なし
7	14	29	0	9
13.2	26.4	54.7	0.0	17.0

表41 週案作成者（複数回答）

n = 53

事業所・病院	主任・主任的な立場の保育従事者	保育従事者	その他	回答なし
2	11	25	0	23
3.8	20.8	47.2	0.0	43.4

表42 日案作成者（複数回答）

n = 53

事業所・病院	主任・主任的な立場の保育従事者	保育従事者	その他	回答なし
1	6	26	0	25
1.9	11.3	49.1	0.0	47.2

表43 デイリープログラム作成者（複数回答）

n = 53

事業所・病院	主任・主任的な立場の保育従事者	保育従事者	その他	回答なし
3	17	17	0	23
5.7	32.1	32.1	0.0	43.4

表44 日常の保育内容を考える時に参考にするもの

あ る	な い	回答なし	合 計
51	6	4	61
83.6	9.8	6.6	100.0

表45 主として参考にするもの（複数回答：3つまで）

n = 51

保育所保育指針	保育所保育指針とその解説書	過去の保育日誌	保育月刊誌	先輩や同僚の意見	研修会の内容	事業所のマニュアル・手引き	その他	回答なし
15	16	13	34	20	13	4	2	0
29.4	31.4	25.5	66.7	39.2	25.5	7.8	3.9	0.0

表46 給食

あ る	な い	回答なし	合 計
43	18	0	61
70.5	29.5	0.0	100.0

表47 給食の実施方法

n = 43

園内で調理する	業者に搬入してもらう	弁当を持参する	事業所内の他施設で調理する	その他	回答なし
12	13	6	11	1	0
27.9	30.2	14.0	25.6	2.3	0.0



表48 献立表

ある	ない	回答なし	合計
37	6	0	43
86.0	14.0	0.0	100.0

表49 献立表を保護者に配布しているか

している	していない	回答なし	合計
29	8	0	37
21.6	78.4	0.0	100.0

表50 間食

ある	ない	回答なし	合計
58	1	2	61
95.1	1.6	3.3	100.0

表51 間食の実施方法

園で調理する	業者に搬入してもらう	商店等で適宜購入する	その他	回答なし	合計
10	2	35	11	0	58
17.2	3.4	60.4	19.0	0.0	100.0

表52 給食や間食で特に配慮していること（複数回答：3つまで）

n = 59

安全管理	アレルギー対応	食事のマナー	栄養面での配慮	偏食への配慮	行事食や季節感等への配慮	その他	回答なし
36	37	34	16	22	18	1	0
61.0	62.7	57.6	27.1	37.3	30.5	1.7	0.0

主任または主任的立場の保育従事者の方にご回答をお願いします。

**I 回答者ご自身についておたずねします。あてはまる所に 一つ、○をつけてください。**

**問1 現在の年齢を教えてください。**  
 ① 20歳前半 ② 20歳後半 ③ 30歳前半 ④ 30歳後半 ⑤ 40歳前半  
 ⑥ 40歳後半 ⑦ 50歳前半 ⑧ 50歳後半 ⑨ 60歳代  
 ⑩ その他 ( )

**問2 現在の施設に勤務してから何年になりますか。**  
 ① 1年から3年 ② 4年から10年 ③ 11年から15年 ④ 16年以上  
 ⑤ その他 ( )

**問3 職場でのお立場について教えてください。**  
 ① 主任保育者(主任的立場の保育者) ② 園長・所長 ③ 事務担当者  
 ④ その他(具体的に: )

**問4 保育に関すどのような資格をお持ちですか。**  
 ① 保育士資格 ② 幼稚園教諭免許状 ③ 看護師 ④ 社会福祉士 ⑤ 調理員  
 ⑥ その他 ( )

**問5 現在の職場に勤務されるきっかけは何でしたか。**  
 ① 保育に関心があった ② 業務命令があった ③ 派遣会社からの指示があった  
 ④ 院内・事業所内施設に関心があった  
 ⑤ その他 ( )

**問6 現在の職場以前に保育者として勤務した経験はありますか。**  
 ① ある ② ない  
 \ (どのような施設: )  
 \ (どれくらいの期間: )

**II 現在、勤務しておられる保育施設についておたずねします。**

**問1 現在、勤務している保育施設は次のどれですか。**  
 ① 事業所内保育施設 ② 院内保育施設 ③ ①、②以外の認可外保育施設  
 ④ その他 ( )

**問2 「① 事業所内保育所」と回答された方にお尋ねします。どんな業種ですか。**  
 ① 社会福祉 ② 製造 ③ 食品 ④ 販売 ⑤ 金融・保健 ⑥ 大学等 ⑦ サービス  
 ⑧ その他(具体的に: )

**問3 保育施設の設置主体についておたずねします。**  
 ① 国営 ② 公営 ③ 民営(事業主) ④ 民営(職員団体)

**問4 保育施設の設置年月を数字でご記入ください。**  
 西暦 年 月 日

**問5 保育施設の運営についておたずねします。**  
 ① 事業所の直営  
 ② 外部への委託(委託事業所名あるいは団体名)  
 ③ その他(具体的に: )

**問6 保育施設の職員は全部で何人ですか。数字でご記入ください。**

	常 勤	非 常 勤	合 計
保育従事者	人	人	人
うち保育者	人	人	人
うち看護師	人	人	人
その他の職員	人	人	人
うち調理員	人	人	人
うち事務員	人	人	人
合 計	人	人	人

**問7 保育施設の建物がある場所を教えてください。**  
 ① 独立した建物・家屋 ② 一般のビルの中 ③ 駅舎の中 ④ 病院の中  
 ⑤ 事業所の中  
 ⑥ その他 ( )

**問8 保育施設の運営時間について教えてください。24時間保育を実施されている施設は○をご記入ください。**

開園前の延長時刻	正規の開園時刻	正規の閉園時刻	閉園後の延長時刻	24時間保育
例: 6:30	例: 8:30	例: 19:00	例: 20:00	

**問9 年齢別の定員数と2012年4月現在の登録児童数を教えてください。また、各年齢の料金を数字でご記入ください。**

年 齢	定 員	登 録 児 童 数	保 育 料 (一人当たりの月額)
0歳児	人	人	円
1歳児	人	人	円
2歳児	人	人	円
4歳から就学前	人	人	円
学 童	人	人	円

**問10 保育料金はどのように徴収していますか。**  
 ① 日割計算でひと月ごとに徴収  
 ② 1時間単位で毎日徴収 一1時間の保育料はいくらですか(円)  
 ③ その他 ( )

**III 保育の内容についておたずねします。**

**問1 現在実施されている保育サービスに○をつけてください。当てはまるものすべてにお選びします。**  
 ① 延長保育 ② 一時預かり ③ 休日保育(日曜・祝日) ④ 夜間保育 ⑤ 宿泊保育  
 ⑥ 病児保育 ⑦ 病後児保育 ⑧ 学童保育 ⑨ 障害児保育  
 ⑩ その他 ( )

**問2 保育において最も大切にしていることを教えてください。**  
 \_\_\_\_\_

**問3 特色ある内容を教えてください。(例: リトミック、体操教室、和食中心の給食など)**  
 \_\_\_\_\_

**問4 保育の計画はありますか。**  
 ① ある  
 ② ない(理由を教えてください: )

**問5 問4で保育の計画があると答えた方におたずねします。どんな計画があり、誰が作成していますか。あてはまるところすべてに○をご記入ください。**

計画の種類	作成者			
	事業所・病院	主任・主任的立場の保育従事者	保育従事者	その他
保育課程				
年間指導計画				
月間指導計画				
週案				
日案				
ディレックプログラム				
その他				

**問6 日常の保育内容を考える時に参考にしているものはありますか。**  
 ① ある ② ない

**問7 問⑥で「ある」と回答された方におたずねします。主として何を参考にしていますか。あてはまるもの三つに○をつけてください。**  
 ① 保育所保育指針 ② 保育所保育指針とその解説書 ③ 過去の保育日誌  
 ④ 保育月刊誌(具体的な雑誌名: )  
 ⑤ 先輩や同僚の意見 ⑥ 研修会の内容 ⑦ 事業所のマニュアル・手引き  
 ⑧ その他 ( )

**問8 給食はありますか。**  
 ① ある  
 ② ない(理由をお聞かせください: )

**問9 問⑧で「ある」と回答された方におたずねします。どのように給食を実施していますか。**  
 ① 園内で調理する ② 業者に納入してもらう ③ 弁当を持参する  
 ④ 事業所内の他施設で調理する  
 ⑤ その他 ( )

**問10 献立表はありますか。**  
 ① ある ② ない

**問11 問10で「ある」と回答された方におたずねします。献立表を保護者に配布していますか。**  
 ① している  
 ② していない(理由をお聞かせください: )

**問12 閉食はありますか。**  
 ① ある  
 ② ない（理由をお聞かせ下さい：）

**問13 問12で閉食が「ある」と回答された方におたずねします。閉食はどのように実施していますか。**  
 ① 園で調理する     ② 業者に搬入してもらう     ③ 商店等で適宜購入する  
 ④ その他（ ）

**問14 給食やおやつで特に配慮していることは何ですか。三つに○をつけてください。**  
 ① 安全管理     ② アレルギー対応     ③ 食事のマナー     ④ 栄養面での配慮     ⑤ 偏食への配慮  
 ⑥ 行事食や季節感等への配慮     ⑦ その他（ ）

**IV 子どもへの対応についてお尋ねします。**  
**問1 どのようなクラス・グループ構成ですか。**  
 ① 年齢別     ② 異年齢混合     ③ 未満児・以上児別  
 ④ その他（ ）

**問2 子ども一人一人に、どのような対応をなさっていますか。**  
 ① すべての子どもの個人記録を作成している     ② 3歳未満児は個人記録を作成している  
 ③ 特に記録はないがよく観察するようにしている  
 ④ その他（ ）

**問3 気になるお子さんはいますか。**  
 ① いる     ② いない

**問4 問3で「いる」と回答された方は、保育中に気になる点すべてに○をつけてください。**  
 ① 肥満     ② やせ気味     ③ アレルギー     ④ ぜんそく     ⑤ 便秘     ⑥ 睡眠不足  
 ⑦ 食べすぎ     ⑧ 小食偏食     ⑨ 偏食     ⑩ 虫歯が多い     ⑪ 噛めない（噛めない）  
 ⑫ 箸やスプーンがうまく使えない     ⑬ 朝食を食べてこない     ⑭ かみつき  
 ⑮ 友達と遊べない     ⑯ 言葉の遅れ     ⑰ 指吸い     ⑱ すく寝れる  
 ⑲ 保育者の指示が入らない  
 ⑳ その他（ ）

**問5 気になるお子さんにどのように対応されていますか。あてはまるすべてに○をつけてください。**  
 ① 他のお子との仲間関係に配慮する     ② 安全に配慮する     ③ 専門機関との連携に配慮する  
 ④ 保護者との連携に配慮する     ⑤ 保育従事者の研修を行う     ⑥ 巡回相談を受ける  
 ⑦ 特定の保育者をつける  
 ⑧ その他（ ）

**問6 乳児保育についてお尋ねします。乳児はいますか。**  
 ① いる（何か月からですか：）ヶ月）     ② いない

**問7 乳児の担当者はどのように決めていますか。**  
 ① 特定の担当者を決める     ② 特に決めていない     ③ ローテーションである  
 ④ その他（ ）

**問8 ミルクの割合や離乳食の調理は誰がしていますか。あてはまるすべてに○をつけてください。**  
 ① 調理担当者     ② 保育従事者     ③ その他（ ）

**問9 乳児の調理中に特に注意していることは何ですか。あてはまるすべてに○をつけてください。**  
 ① そばを離れない     ② センサーベッドを使用している     ③ あおむけに寝かせる  
 ④ 室温に注意する     ⑤ 安静にする     ⑥ その他（ ）

**問10 おむつ交換はどこでしますか。**  
 ① 床や畳の上に敷物をおいてする     ② おむつ交換台で行う     ③ 特に決めていない  
 ④ その他（ ）

**問11 どのような行事がありますか。すべてに○をつけてください。**  
 ① 入園式     ② お誕生日会     ③ ひな祭り     ④ セツ・夕涼み会     ⑤ 遠足     ⑥ 運動会  
 ⑦ クリスマス会     ⑧ 作品展     ⑨ 発表会・お遊戯会     ⑩ 卒園式     ⑪ 遊園訓練  
 ⑫ その他（ ）

**問12 子どもの遊びについておたずねします。子どもがよくする遊びすべてに○をつけてください。（ ）の中に多い順に数字で番号をつけてください。**  
 ① 保育従事者が関与しない自由な室内遊び（ ）  
 ② 保育従事者が関与する集団での遊び（ ）  
 ③ 音楽に合わせたリズム遊び（ ）  
 ④ 身体活動中心の運動遊び（ ）  
 ⑤ お絵かきや粘土等造形的な遊び（ ）  
 ⑥ 保育従事者が関わる園庭での遊び（ ）  
 ⑦ 事業所内の広場等での保育従事者（ ）  
 ⑧ その他（ ）

**VI 保育従事者についてお聞かせください。**  
**問1 勤続は何交代ですか。**  
 ① 二交代制     ② 三交代制     ③ 特に決めていない  
 ④ その他（ ）

**問2 交代の時どのようにしますか。**  
 ① 記録ノートに記入する     ② 口頭で引き継ぎを行う     ③ 特に決めていない  
 ④ その他（ ）

**問3 職員会議はどのようにしていますか。**  
 ① 定期的にする（どのような期間ですか：）     ② 不定期にする  
 ③ あまり行わない（理由：）  
 ④ その他（ ）

**問4 職員会の配属はありますか。**  
 ① ある     ② ない（理由は何ですか：）

**問5 職員研修はありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。**  
 ① 職場内研修     ② 職場外研修     ③ 職場内・職場外両方の研修  
 ④ 研修の機会がない（理由：）

**問6 職員の研修の計画はありますか**  
 ① 個別にある     ② 大まかにある     ③ 計画はなく保育従事者個人に任せる  
 ④ 特に決めていない  
 ⑤ その他（ ）

**問7 どのような研修を希望しますか。希望するもの三つに○をつけてください。**  
 ① 子どもの発達理解     ② 保護者対応     ③ カウンセリング     ④ ソーシャルワーク論  
 ⑤ 保育者のキャリア発達     ⑥ 保育の自己評価     ⑦ 子どもの発達に応じた保育内容  
 ⑧ 虐待防止     ⑨ 保育行政・保育の動向     ⑩ 乳児保育     ⑪ 障害児保育     ⑫ 食育  
 ⑬ 子どもの病気・怪我対応     ⑭ 日誌や記録の仕方     ⑮ 保育指導計画  
 ⑯ リズム遊び・リズム     ⑰ 手作りおもちゃ     ⑱ 絵本の読み聞かせ  
 ⑲ 保育者のメンタルヘルス     ⑳ その他（ ）

**問8 職員間の連携を取るために何か工夫されていることがありますか。**

**VII 保護者との連携についてお尋ねします。**  
**問1 連絡頻度はありますか。**  
 ① ある  
 ② ない（どのように日々の連絡をとっておられますか：）

**問2 懇話会や参加日をもうけていますか。**  
 ① ある  
 ② ない（理由は何ですか：）

**問3 家庭訪問をすることがありますか。**  
 ① ある：どのような時ですか。  
 ② ない：理由は何ですか。

**問4 園だよりなどを保護者に配布しますか。**  
 ① 定期的に配布する     ② 不定期に配布する     ③ しない

**問5 保護者会はありますか。**  
 ① ある  
 ② ない（理由：）

**問6 保護者からの意見や苦情はどのように受けとめていますか。**  
 ① 意見・苦情窓口を設けている     ② 苦情解決の手順を伝えている・掲示している  
 ③ 特にない  
 ④ その他（ ）

**問7 保護者との連携で特に配慮されていることはありますか**

**★保育従事者として今、最も重んばれることは何ですか**

\*たくさんの質問にご協力ありがとうございました。

## 参考文献

- 1) 厚生労働省雇用均等・児童家庭局 保育課 保育所関連状況とりまとめ 2011年4月1日  
[http:// www. mhlw. go. jp/stf/houdou/2 r 9852000001 q 77 g. html](http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001q77g.html)
- 2) 厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課 平成22年度認可外保育施設の現況取りまとめ  
2012年3月30日
- 3) 同 上
- 4) 岐阜県少子化対策基本計画に基づく平成22年度施策の実施状況報告 岐阜県 2011年7月
- 5) 主任保育士の実態とあり方に関する調査研究報告書 社会福祉法人 日本保育協会 2010年  
p.16
- 6) 財団法人こども未来財団「事業所内保育施設の保育内容調査」に関する報告書 2011年3月  
p.11
- 7) 同上 p.13
- 8) 同上 p.14
- 9) 同上 p.24
- 10) 同上 p.23